

はなみずきのまちだより

編集・発行 / 社会福祉法人名古屋市千種区社会福祉協議会

ホームページ / <https://www.chikusa-shakyo.jp/>



ご協力ありがとうございました!

赤い羽根共同募金



令和2年度千種区募金実績

10,921,115円

千種区のみなさまから募金いただいた赤い羽根共同募金は、約7割が千種区内のさまざまな活動に使われています。

募金はこんなところに役立てられています

キラキラサンタ事業

11月下旬~12月に、区内の子育て支援活動の一環として、子育てサロンなどのクリスマス会にプレゼントを届ける事業を行っています。今年はコロナの影響で規模を縮小しての実施となりましたが、毎年「花水木鯨城会*」の皆様をはじめ、地域の方にサンタクロースやトナカイに扮していただき、小さなお子様たちにプレゼントをお届けしています。



*高年大学鯨城学園を卒業された方が結成しているグループ

寝具クリーニングサービス事業

区内にお住まいの65歳以上の方で、布団を干すことが困難な、おひとり暮らしの方などを対象に寝具クリーニングサービス事業を行っています。この事業は名古屋市民生委員児童委員連盟千種支部(お住まいの地区の民生委員の皆様)にご協力いただき、毎年200名を超える方が利用しています。朝早くに預けた布団や毛布が、その日の夕方には、キレイにふっくらして戻ってくるサービスは、リピーターが多く好評です。



「高齢者はつらつ長寿推進事業」パンフレット

65歳以上の方を対象とした介護予防事業「はつらつ」の子ども向けパンフレットができました。

あいち造形デザイン専門学校(千種区今池)の3名の学生さんに漫画やイラストを描いていただき、子どもにも見やすい作りになっています。

パンフレットを読んだ子どもから祖父母やご近所の高齢者など皆様へ紹介していただけたら...との想いで作りました。

パンフレットは千種区社協や区役所、児童館などに配架しております。



パンフレット



中日新聞1月22日に掲載

専門学校生とコラボ

まぐ

ご協力ありがとうございました! 赤い羽根共同募金 P.1
「高齢者はつらつ長寿推進事業」パンフレット♪ P.1
私のまちの推進協 P.2
第4次地域福祉活動計画進行中♪ P.3

ストラップに続く自信作は...「ユーカリナマスク」... P.3
いきいき支援センターからのお知らせ P.4
千種区ボラ連を知ろう! P.4
善意の小箱 P.4



千種区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ユーカリナ」

千種区
マスコットキャラクター
「こあらっち」



私のまちの

すい しん きょう 推進協

地域福祉推進協議会(推進協)とは、地域で暮らす方々が、地域の「つながり」を活かしながら、暮らしの中にある地域の福祉課題に対して取り組む住民主体の組織で、千種区には15の推進協(各小学校区に1つ)があります。

このコーナーでは各学区の推進協活動を紹介していきます。お住まいの学区の推進協はどんなことをしているのか知っていただければと思います。



春岡学区では、およそ35名のボランティアさんがグループにわかれて、活動を行っています。活動は「はぐくみサロン(子育てサロン)」、「和気あいあいサロン(高齢者を中心としたサロン)」、「なごやかランチ(ふれあい給食会)」、「楽しく学ぼう認知症(認知症勉強会)」、「地域支えあい事業(困りごとの相談



窓口)」、コミセン図書の整備などです。

今年度はコロナの影響で、ほとんどの活動が中止となる中、「いつもの参加者のみなさんに少しでもお会いして、近況を伺えたらいいのに…」という思いから、ボランティアの有志が、クリスマスの時期に、給食会や子育てサロンの参加者のみなさんに自宅でできる認知症予防プログラムやおもちゃにメッセージカードを添えて手渡しする活動を行いました。

また、令和2年1月から始めた「地域支えあい事業」は、住民の方からの相談が少しずつ増えてきています。今のところ、数名のボランティアによる活動ですが、他のグループの協力や、新しいボランティアを募りながら、困りごとの解決に向けた活動を広げていく予定です。推進協ボランティア全員の「たすけあい」の気持ちや想いが、いろんな地域の方の関係をつないで、地域の中で実って欲しいです。



大和学区では、第1・第3水曜日のPM1:30~4:00まで、「いきいきサロン大和」を、大和コミセンで行っています。みんなで集まって、カラオケや体操(チェアエクササイズ)椅子に座ってできる体操)、おしゃべりなどを楽しんでいます。

学区のみなさんから、「体操をしたり、広い場所でおもいきりカラオケがしたい」などの要望からサロンが発足しました。

「サロン」は40代~80代まで、幅広い方が集まり開催されています。第1水曜日は、カラオケで自分が歌いたい曲をリクエストして、時間の限り何曲でも歌うことが

できます。第3水曜日は、前半(45分間)は、体操の先生をお呼びして、リズムや音楽に合わせて、からだを動かさしほぐします。後半はカラオケを楽しみます。

だれでも参加でき、歌う人、聞く人、おしゃべりする人、みんなwelcomeです。

参加されている方からは、笑顔や笑いがこぼれ、楽しまれています。



※現在もサロンは開催されていますが、新型コロナ対策として、館内空間消毒、手指消毒、検温、マイクも1曲ごとに消毒をおこなっています。

千種区社会福祉協議会では、地域住民の皆様や地域で福祉活動をされている方、関係機関や団体などにご協力いただき、「誰もが安心して生活できる千種区」をめざしながら地域福祉に取り組んでいます。

つながり川柳作品大募集!!

『人とのつながりの大切さ』を伝える川柳を詠んでみよう!!

応募対象 市内在住・在学・在勤の方(ボランティア活動を含む)

- 応募規定**
- 応募作品は、一人2句までです。
 - 応募作品は、本人が創作した未発表のもので、第三者の著作権を侵害しないものに限りません。
 - 応募作品は返却しません。また、著作権は主催者に帰属するものとします。
 - 応募作品及び応募者名については、千種区社会福祉協議会ホームページや広報誌等において公表する場合があります。
 - 選考方法等に関する問い合わせはお受けしません。

応募方法 所定の応募用紙に作品とともに氏名、住所、年齢、電話番号を記入のうえ、応募先へ窓口持参・郵送・FAXいずれかの方法でご応募ください。
※応募用紙は千種区社会福祉協議会ほか、以下の場所にて配架。

応募用紙 千種区役所・千種生涯学習センター
応募箱設置場所 千種児童館・千種図書館・都福祉会館

また、千種区社会福祉協議会のホームページから応募用紙をダウンロード可能。
<https://www.chikusa-shakyo.jp/>

応募締切 令和3年5月31日(月)必着

今回入賞した川柳を用いて、『つながりカルタ(仮称)』を作成する予定をしています。『つながりカルタ(仮称)』は社会福祉協議会、各種事業やサロン活動、地域イベント等で活用させていただく予定です。あらかじめご了承ください。

応募先
事務局

千種区社会福祉協議会「つながり川柳」

〒464-0825

千種区西崎町二丁目4-1 千種区在宅サービスセンター内
TEL 763-1531 FAX 763-1547

ご家族やお友達、ご近所さんなど人や地域とのつながりの大切さを皆さんに伝える活動をすすめています。

一緒に川柳をよんで
つながろう



ストラップに続く自信作は…ユーカーリーナマスク

千種区共同募金委員会では、一定金額以上の募金をしていただいた方で、ご希望の方には、オリジナルマスクキャラクター「ユーカーリーナ」のグッズをお渡ししています。マスクの他にもストラップ、缶バッジ、トートバッグ、サコッシュのご用意があります。詳しいことはお問合せください。

マスク

つけ心地が、フワフワで、とってもいいです!

左側にはワンポイントのユーカーリーナ。フリーサイズです。

新入社員の不破(フワ)の一押しです!



ストラップ



カバンにつけるとワンポイントでかわいいです♪

ジャンパー



ユニフォームのジャンパーもユーカーリーナで一新!
こちらは残念ながら(!?)非売品です!!

お問い合わせ先 千種区共同募金委員会(千種区社会福祉協議会) TEL 763-1531 FAX 763-1547

『認知症予防体操』の動画を作成しました!

いきいき支援センターでは、自宅で手軽に取り組むことができる『認知症予防体操』の動画を作成しました。動画は「3の倍数に手をたたく体操」と「3の倍数は手をクロス体操」の2種類があり、どちらも2分程度の短いものとなっています。ぜひご覧いただき、動画を参考に体操をしてみましょう!



認知症予防体操とは…

認知症予防には運動療法が有効と言われています。その中でも特に、頭と体の運動を同時に行うエクササイズ(コグニサイズ)が認知機能を向上させることが、様々な研究の結果から分かってきました。これらを取り入れた千種区オリジナルの体操が認知症予防体操です。



動画はこちら▲

千種区ボラ連を知ろう!

ボランティアさんにインタビュー!

今回は、千種区ボラ連所属の災害ボランティア
ちくさネットワークで活躍されている高松三千男
さんにインタビューさせていただきました。



Q 活動を始められたきっかけはなんですか?

A 55歳になったとき、そろそろ世のため、人のために活動をしたと感じました。そこで、消防団に入り3年ほど活動した頃、広報なごやに載っていた「災害ボランティアコーディネーター養成講座」の記事を見て受講したことがきっかけです。当時千種区にはグループがなかったため設立にも携わりました。

Q 活動されてみて、やりがいだったり、感想を教えてください。

A グループを設立した翌年に、東日本大震災が発災。現地でボランティアとして活動した際、被災地を見て、この現状を持ち帰って自分のまちに伝える必要性を感じました。今後も、自分が現場で経験したことを発信していくことがやりがいです。

Q 今後の意気込みをお願いします!

A 防災、減災の必要性を発信し、一人でも多くの災害弱者を手助けをしていきたいです。



災害ボランティアちくさネットワーク
みちお
高松 三千男さん

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付等をいただきました。

<令和2年10月20日~令和3年2月19日> (※一部 前月号記載漏れ分を含む)

寄付 ● 株式会社 ニュータス 様 ● ボランティアグループ 月木会 様 ● 匿名 4件

皆さまからいただいた寄付等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会 (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825 / 名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

● お問い合わせ先

TEL 【代表】052-763-1531
【ボランティアセンター】052-763-1536
【千種区西部いきいき支援センター】052-763-1530
【千種区介護保険事業所】052-763-7842
【デイサービス】052-763-1331

FAX052-763-1547

ホームページ  <https://www.chikusa-shakyo.jp/>

Instagramで、
ユーカリナが千種区社協のことや
千種区の地域福祉の
情報などを発信しています♪

Instagram

